

府中市

かんきょう活動センターだより  平成27年度冬号

シモバシラ

シモバシラは、木陰に生え10月に白い花を沢山付ける40cm～70cmのシソ科の多年草で、冬地上部が枯れても水を吸い上げ、その水が枯れた茎の裂け目からしみ出て、夜の冷気に当たり氷の花となります。まさに自然が創り出す芸術品です。



郷土の森博物館のシモバシラ

環境保全活動センター事業開催 郷土の森博物館で梅林と自然を観察！

環境保全活動センター事業として、梅まつり開催期間中の、リニューアルされた郷土の森博物館で、園内の梅林と自然の話を、学芸員により説明いただきます。

日時 平成28年3月5日（土）午前10時～正午

場所 郷土の森博物館内梅林及び庭園

費用 無料（入園料別途必要、市民割引の為に、自身の証明となるもの持参）

主催 環境保全活動センター

申込みなど、詳しくは2月11日号広報ふちゅうをご覧ください。



園内梅林風景

東芝ソリューショングループ環境フォーラム開催結果

東芝ソリューショングループ主催、府中市及び環境保全活動センター後援の「東芝ソリューショングループ環境フォーラム」が、東芝グループCSR（企業の社会的責任）月間行事として、12月8日（火）に府中グリーンプラザにて開催されました。今年で10回目となる本フォーラムは、309人が参加し、当日は沖縄県生まれで、養殖サンゴの移植・産卵をてがけている㈲「海の種」代表の金城浩二氏により『さんご礁がぼくに教えてくれること』と題して講演されました。金城氏は、サンゴ礁の白化現象という海の異変に気づき、実業家として成功していた地位を投げ捨て、まだ誰も成し遂げたことのないサンゴの移植、養殖という事業にとりくみました。事業の成功に至るまで、実に多くの困難を乗り越えていく金城氏の生き様は、まさに波乱万丈であり、それを支えた家族と信念を持って行動することの大切さについて考えさせられるものでした。

講演後には、「環境と人生について考えることができた」「金城さんの生き方、あきらめない気持ちなど、納得できるお話だった」などの感想がありました。

府中かんきょう塾2015修了式

今年度は、25名の参加者のもとに、5月に第1回環境講座として開始した通年講座かんきょう塾は、12月で最終回を迎え、同時に修了式を行いました。これまでの講座では、都立浅間山公園自然散策及び都立野川公園自然観察会を行い、普段私たちが見落としている、身近にある自然の大切さを感じ、講演では「地球環境問題と持続可能な社会への道」について、「家庭の省エネ講座」など、専門家から貴重な話をいただきました。また、環境関連施設見学会では、産業廃棄物処理施設がある石坂産業㈱を訪ねました。産業廃棄物の100%リサイクルを目標に、最先端の機械、システムを導入した行程を見た受講生からは、驚きの声が聞こえていました。

府中かんきょう塾2015プログラム

- 5月 9日 開講式 都立浅間山公園自然観察会
- 6月27日 地球環境問題と持続可能な社会への道
- 7月11日 家庭の省エネ講習
- 9月10日 産業廃棄物処理施設バス見学会
- 11月 7日 都立野川公園自然観察会
- 12月12日 グループ活動成果発表、修了式

修了式に先立ち、現在活躍中のかんきょう塾0Bからのお話をいただき、塾生からは「浅間山について」「ブルーベリーと府中」「市内の湧水・用水路について」の各テーマで、この7か月自主的に取り組んできたグループ活動の成果を発表しました。各班が詳細なところまで調べ、努力していたことがうかがえました。今後の受講生の皆様の活躍に期待いたします。



修了証書を受取る受講生

通年講座かんきょう塾は、タイムリーなテーマを取上げた講座と、自然に親しむ野外活動や環境関連施設見学会を通して、環境問題について学びます。講座内容は難しいものではなく、専門知識がなくとも十分理解できるものです。

5月に開催予定のかんきょう塾2016に、皆様のご参加をお待ちしています。

環境のお話と多摩動物公園自然体験のつどい開催結果

東京ガス多摩支店・多摩動物公園主催及び多摩12自治体後援による「環境のお話と多摩動物公園自然体験のつどい」が11月29日(日)に多摩動物公園(日野市)にて開催されました。

本イベントは、生物多様性と私達の暮らしについて学ぶと共に、東京ガス多摩支店エリア12自治体の環境への取り組みを紹介することを目的に開催されているものです。



多摩動物公園 環境関連パネル展示

今年で6回目となる今回は、家族76組243人が参加し、当日は坂本多摩動物公園園長の挨拶、長谷川東京ガス多摩支店長の挨拶の後、多摩支店からは「エコ&食で地球と一緒に元気になろう」と題し、地球にやさしい暮らし方についての紹介がありました。続いて、朝日新聞記者の中山由美氏が「雪と氷の世界のいきものたち」と題して講演されました。中山氏は過去2回の南極観測隊に同行取材した経験やそこに生きる動物たちの様子を通して、人間と動物のかかわりについてお話をされました。

展示スペースでは、東京ガス株式会社と本市を含む12自治体の環境への取り組みをパネルで紹介し、クイズを通して親子で環境について理解を深める場となりました。府中市からは、本市が設置に対し費用の一部を助成している「雨水浸透施設や雨水貯留槽」を紹介し、地下水や湧水の確保、緑の育成や保全の効果についての啓発を行いました。



府中市パネル

浅間中学校環境学習授業実施

10月26日(月)に浅間中学校で外部人材を活用した授業実践として、活動センターサポーターによる環境学習授業を行いました。同中学校は浅間山が近くにあり、日頃から全山清掃や下草刈りの手伝いを行っていることから、身近な自然環境を知ることにより、生物多様性や人間が自然環境へ及ぼす影響、環境保全の重要性などを知ってもらうことを目的として実施されました。第3学年全員(5クラス)の195人が熱心に授業を受けました。活動センターサポーター6人が手分けをし、楽しい雰囲気の中で授業が出来たことは、生徒の皆さんにとって、これからの環境学習に役立つものと確信しています。



熱心に授業を受ける生徒たち

市民農業大学・エコクッキング 秋野菜コース実施

環境保全活動センター事業として、11月28日(土)にJAマインズ多磨支店の調理室をお借りして、市民農業大学で収穫した野菜を使ったエコクッキングを開催しました。

参加者の方々は、お子さんを含め14人で、和気藹々と楽しくクッキングが実施できました。

この企画は、農業体験とクッキングの組合せで、自分で植え付け、そして収穫した材料を使って調理をするということで、参加者の皆さんは、とても感動していました。



楽しく調理する参加者

- エコクッキングの目的は、
- 1 地産地消」を意識した食材選び。
 - 2 市内の新鮮な特産品を使う。
 - 3 水洗いは「ため水」で節水する。
 - 4 野菜はできるだけ皮ごと調理する。
 - 5 ゆで物はなるべく1つの鍋で行う。
 - 6 油污れは古布や新聞紙などでふき取ってから洗う。等です。

日頃、家庭で調理をしている主婦の皆様からも、エコクッキングの再認識ができたとのことご意見がありました。



おいしく頂きました

活動センター登録団体開催事業予定

西府崖線野鳥観察会の開催

今回は2回目の開催です。ハケにカモ類、ジョウビタキ、シジュウカラ、カワセミ、イカル、ハクセキレイなどの野鳥が飛来します。

今年も幸運なら、ジョウビタキ、カワセミなどに出会えるかもしれません。皆様の参加をお待ちしております。双眼鏡などをお持ちの方はご用意ください。(荒天中止)

日時 平成28年1月30日(土)午前9時半集合

集合場所 JR西府駅南市川緑道「あずまや」

主催 NPO法人かんきょう市民の会

申込み 当日直接「あずまや」へ集合

問合せ 田中香代子 電話042-366-0966



府中用水のカワセミ

エコ・プロダクツ2015出展 浅間山自然保護会によるワークショップ

12月10日(木)から12日(土)に東京ビッグサイトで開催された、日本最大級の環境展示会であるエコプロダクツ2015に、府中市も参加しているオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が出展しました。

府中市からは「府中市生物多様性地域戦略」「浅間山の貴重な植物の保護」「田んぼの大切さを教える『田んぼの学校』」についてのパネル展示や説明を行い、府中市をPRしました。

会場内のワークショップでは、浅間山自然保護会の皆さんが木の実細工の実演を行い、来場した多くの子どもたちに喜ばれ、大変賑わいました。



浅間山自然保護会のワークショップ

登録団体開催事業

富士山バス見学会

(府中かんきょう市民の会 寄稿)

11月13日(金)第16回バス見学会として、「山梨県富士山科学研究所」と「富士吉田市ふじさんミュージアム」に行ってきました。いずれの施設も、富士山が世界文化遺産に登録された事などにより、既存施設を最近リニューアルしたものです。富士山科学研究所では、富士山の成り立ちから、噴火の説明、江戸時代の宝永の噴火を例に、噴火発生時の東京方面への環境への影響などについての講義を受けました。ふじさんミュージアムでは、富士山に係わる民間信仰や、歴史などのついて、新しいデジタル表現技術を駆使した展示を楽しみました。実施時期が11月で、道路凍結のため、富士山5合目までの道は既に閉鎖されているとのことで、富士登山は行いませんでしたが、往路の高速走行中に、雲間から一瞬だけ富士山が大きく姿をみせてくれた事や、真紅のモミジで彩られた風景は、この季節ならではのものでした。

府中市環境保全活動センター

環境保全活動センターは、環境保全活動機会の提供及び環境問題に関する相談等を通じて、市民、事業者及び学校等が行う環境保全活動への取組みを支援しています。

所在地 〒183-0056

府中市寿町1丁目5番地

府中駅北第2庁舎7階

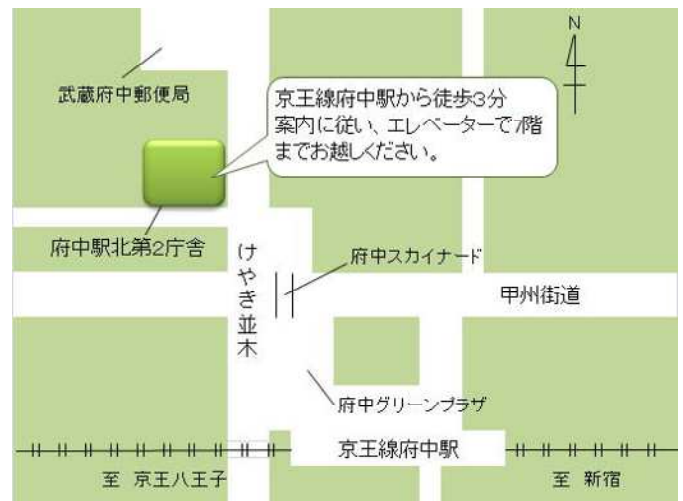
電話番号 042-335-4410

利用時間 午前9時から午後5時

休業日 土曜日、日曜日及び祝日、年末年始
(12月29日から1月3日)

ホームページ <http://fuchu-kankyo.com>

メールアドレス mail@fuchu-kankyo.com



編集後記

昨年の12月10日から開催された、第17回エコプロダクツ2015を初めて見学しました。様々な企業や自治体等が多数出展されていました。

府中市では、浅間山自然保護会の方々が、木の実細工の実演を行っていました。

私が見て回った鉄鋼関係の会社は、自然環境保護や省エネに取り組んでいるとの事でした。

各企業が、3Rや温暖化防止、環境保全等に配慮した取組みをしていると思いました。

会場には子どもたちの姿も多く見られ、各ブースでは簡単なクイズや子どもでも分かりやすい案内の仕方をしていました。

環境問題は、これからの未来を担う子どもたちに、興味を持って考えて行動できる様にすることがとても大事な事だと思いました。

私に取っても大変有意義な1日でした。

(編集委員 C・Y)

発行日 平成28年1月22日(金)

編集・発行 府中市環境保全活動センター
広報活動部会

次回発行予定 平成28年4月